

図書館だより

秋田大学附属図書館

附属図書館ホームページ

● <http://www.lib.akita-u.ac.jp/>

医学部分館ホームページ

● <http://libra.med.akita-u.ac.jp/>

菅江眞澄の道を通って15 岩館公園の櫻

眞澄はこの地を、雪をかき分けて、秋田(出羽)に向った。

小菅生崎も遙けくあとに過て日はくらぐらになりつれど、
夕月夜、はつかに木の間に照りて山路をたどる。

(雪の道興 雪の出羽路)

秋田大学名誉教授 山本穆彦氏・画

目次

・ 巻頭言 - 新学期を迎えて -	渡会 二郎	2
・ お知らせ - 館長・分館長紹介 / 図書館システム・パソコン更新 -		2
・ 寄稿 - 「ホームページ」と「機関リポジトリ」 -	石川 三佐男	3
・ 新OPAC検索例		4
・ 館内図(本館)		5
・ 館内図(医学部分館)		6
・ データベース紹介		7
・ 新入生の皆さんへ - 卒業生から 図書館利用のすすめ - / 寄贈図書リスト		8
・ 著書紹介	對馬達雄 / 武内恵美子	9
・ 図書館カレンダー / 編集後記		10

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます！

巻頭言

新学期を迎えて

秋田大学附属図書館長 渡会 二郎

新入生の皆さん入学おめでとうございます。これからの大学生活でやりたい事が沢山ある事と思います。大学の図書館には知の根幹である教養を始め、各専門の知識や技能を修得する機能が沢山ありますので、是非有効に利用してください。

学生諸君だけでなく我々教職員にとっても、図書館の持つ学習支援および研究支援機能は大切です。学問の専門分化・細分化、領域を超えた連携・融合が日進月歩で進む現在、皆さんが社会に出てどの職業分野に就いても、生涯に渡って新しい知識と技能の習得が求められてきています。

このような時代背景から、大学審議会において学生自らが課題を探索し解決する能力の育成が要請され、シラバスを見て分かるように自ら学習するシステムに置き換わってきています。

従来のように進級・卒業試験をクリアするだけでなく、自分自身で課題を設定し、解決し、レポートを作成し、発表出来る自立した学習能力を持つ事が求められてきています。

授業や実習を理解・修得する知識・技術を身につける上で、図書館利用は欠かせません。図書館には諸君の学習の助けとなる多くの蔵書、電子ジャーナル、図書や雑誌の情報検索コーナーがあります。医学部分館には情報スペースを設けインターネット利用環境も作っております。図書館で学習のスキルを早く身につける事は大変重要です。利用の詳細は図書館ホームページで公開していますが、気軽に受付の担当者にも相談してください。本館のブラウジングコーナーは新聞・雑誌もあるくつろげる場所です。有効に活用して学生同士の情報交換により、有意義なキャンパス生活が送れるように願っております。

(わたらい じろう 医学部医学科統合医学講座 教授)

お知らせ

館長・医学部分館長が交代しました。

館長：渡会二郎 教授（医学部医学科統合医学講座） 任期：平成19年4月1日～21年3月31日
分館長：杉山俊博 教授（医学部医学科構造機能医学講座） 任期：平成19年2月23日～21年2月22日

図書館システムが新しくなりました。

- ・OPAC（オーパック：蔵書検索システム）が変わりました。P4にOPAC検索例があります。OPAC検索の詳細は図書館ホームページをご覧ください。
- ・WEBサービス（ILL：学外文献コピー・貸借 / 図書購入申込）が変わりました。**マイ・ライブラリ(My Library)** で各種サービスを提供します。学外文献の申込は校費・私費ともにマイ・ライブラリからになります。利用法の詳細は別紙案内をご覧ください。

情報検索コーナーのパソコンが新しくなりました。

- ・本館・医学部分館の情報検索用パソコン計25台が新しくなりました。（参照：P5-6館内図）利用者はセキュリティ強化のため、本学所属者用の認証ID, PWが必要です。教官は**全学認証システムのID, PW**を入力してパソコンをご利用ください。学生は**総合情報処理センター登録のID, PW**での利用ができます。（図書館本館にPW変更用の専用パソコンがあります）一部のOPAC専用パソコンについては認証なしで利用できますがインターネットの利用は出来ません。学外（一般）の方は上記OPAC専用パソコンのみ利用できます。

「ホームページ」と「機関リポジトリ」

前附属図書館長 石川 三佐男

今日、大学等で「ホームページ」(HP)と「機関リポジトリ」(Institutional Repository)を開設することは必要不可欠となっている。

まず「ホームページ」は世界のどこの大学でも開設していないところはないほどで、大学の広報の一環として広く活用されている。秋田大学にも「ホームページ」があり、そこには他の部局と並んで附属図書館の「ホームページ」も開設されている。附属図書館の「ホームページ」の特色は利用者にとって使いやすく、役に立つ情報提供に心がけて作成されていることにある。情報は常に更新している。「ホームページ」の構成や豊かな利便性も学内外から高い評価を博している。

一方「機関リポジトリ」は一部には耳慣れない言葉だ(実際はその意義を説明している時代は終わったとさえいわれている)が、秋田大学はまだ設置していない。「機関リポジトリ」(リポジトリは「貯蔵庫」または「宝箱」の意)は大学で生産するあらゆる学術成果を電子的に蒐集・蓄積・保存し、ファイルはPDF、HTML、PPTや動画等によってサーバに載せ、インターネットを通じて学内外に無償で公開するシステムをいう。

「機関リポジトリ」は社会に対する大学の説明責任を果たす手段として注目されている。現に世界で750余、日本でも60余(予定含む)の大学等がこの事業を展開している。名古屋大学(2006年12月現在)の事例だが、「機関リポジトリ」で公開している学術雑誌論文400、学位論文300、紀要論文3500、貴重書30000、

図書10、会議発表資料50、教材50、Webサイト情報資源2000。利用状況は一日平均160人、600ページビュー、一人あたり平均4ページ閲覧、日本以外にも東南アジア、北米、欧州から訪問、7割以上はGoogle / Yahoo!の検索から、ダウンロードは毎月10000件以上であるという(注)。名古屋大学の取組は今後さらに発展することが見込まれる。

平成19年度、秋田大学附属図書館は他の部局や情報化推進委員会の協力を得ながら「機関リポジトリ」の設置に着手することが決まった。幸い秋田大学には教育文化学部・医学部・工学資源学部による学術雑誌論文、学位論文、科学研究費成果、紀要論文、貴重書(鉱山学関係資料、シェイクスピア全集、ガリレオ・ガリレイの二大図書原本、北方教育資料等)、鉱業博物館が蔵する世界の多彩な鉱石資料、COEの研究成果、特色GPの教育成果等、特色ある学術成果を発信できる素地がある。

「機関リポジトリ」設置のメリットは、1)学内の情報共有が出来る、2)大学が存続する限り個人や共同の学術成果を永続的に管理・保証できる、3)社会に対する説明責任も分かりやすい形で果たせる、4)大手商業出版社が高額な購読料で独占的に展開している「電子ジャーナル」に対抗する手段となり得る、等にある。

「ホームページ」と「機関リポジトリ」はもはや車の両輪のように必須。この当たり前のことを一刻も早く実現するためにも、私は秋田大学全教職員、関係者の力強い支援を願ってやまない。

(注) 本情報は名古屋大学附属図書館長・伊藤義人氏の「日本における学術機関リポジトリの展開」(国立情報学研究所コンテンツ運営・連携本部主催国際会議発表資料・日本語版・2006年12月)による。数字は概数で示した。

* なお「電子化された情報」の対極にある「紙媒体による活字情報」が普遍的価値を持つことについては別の機会に述べることにしたい。

(いしかわ みさお 教育文化学部 日本・アジア文化講座教授)

簡易検索場面

検索条件入力

簡易検索 詳細検索

●対象データベース： 本学所蔵 NACSIS目録 ※NACSIS目録は全国大学図書館等の所蔵情報

●館指定： 本館(手形キャンパス) 医学部分館(本道キャンパス)

●資料の種類： 図書 雑誌 視聴覚資料 雑誌巻号特集名 厚生労働省報告書

●一覧表示方法： タイトル順 | 10件ずつ

※本館所蔵の“秋田の歴史”に関する“図書”或いは“雑誌”を探す。⇒キーワードは“秋田”“歴史”

※必要箇ののみものはチェックを併せませす

検索結果 (図書)

検索結果詳細 : 図書

いわゆる単行本。固有の書名を持つ(講座・シリーズものでの刊行あり)

秋田美人の謎 (書名(タイトル))
 アキタビジョンノナゾ
 新野直吉著 (著者名)
 東京：中央公論新社, 2006.5 (出版情報)

●所蔵：

巻号	予約人数	刷年	所在	請求記号	資料ID(図書番号)	状況	備考
1 □	0		本館秋田県コーナ	367.212 N72	110600508		

巻号ブックマーク | 現在予約者なし ⇒ 借用可 | 配置場所 | クリックしてください ⇒ 館内図が出ます | 省ラベル番号 ⇒ 書架の配列位置 | バーコードラベル番号 | “貸出中”なら予約可

●刊年：2006
 ●形態：254p:挿図,肖像;16cm
 ●シリーズ名：中公文庫;[C-17-1]

検索結果 (雑誌)

検索結果詳細 : 雑誌

同一タイトルで定期的に刊行されます。⇒巻号で区別(論文を収録)

秋大史学 (雑誌名(タイトル))
 シュウダイシガク
 秋田大学歴史学研究会 (雑誌編集者・刊行者情報)
 秋田

クリックすると“マイライブラリ”へ

ブックマーク | 学外へ複写依頼(公費) | 学外へ複写依頼(私費)

●雑誌の所蔵：

所蔵巻号	請求記号	所在	所蔵年	受入継続	備考
1 1-35, 37-52+		本館第1書庫2-3F	1952-2006	継続中	

36は欠号 | クリックすると館内図が出ます | 所蔵巻号に対応 | 所蔵最終号に+とある

詳細検索画面

検索語(情報)が多いときはこちらで...

詳細検索画面

簡易検索 詳細検索

●対象データベース： 本学所蔵 NACSIS目録

●館指定： 本館(手形キャンパス) 医学部分館(本道キャンパス)

●資料の種類： 図書 雑誌 視聴覚資料 雑誌巻号特集名 厚生労働省報告書

●キーワード：

●タイトル：

●編著者名：

●件名：

●出版社：

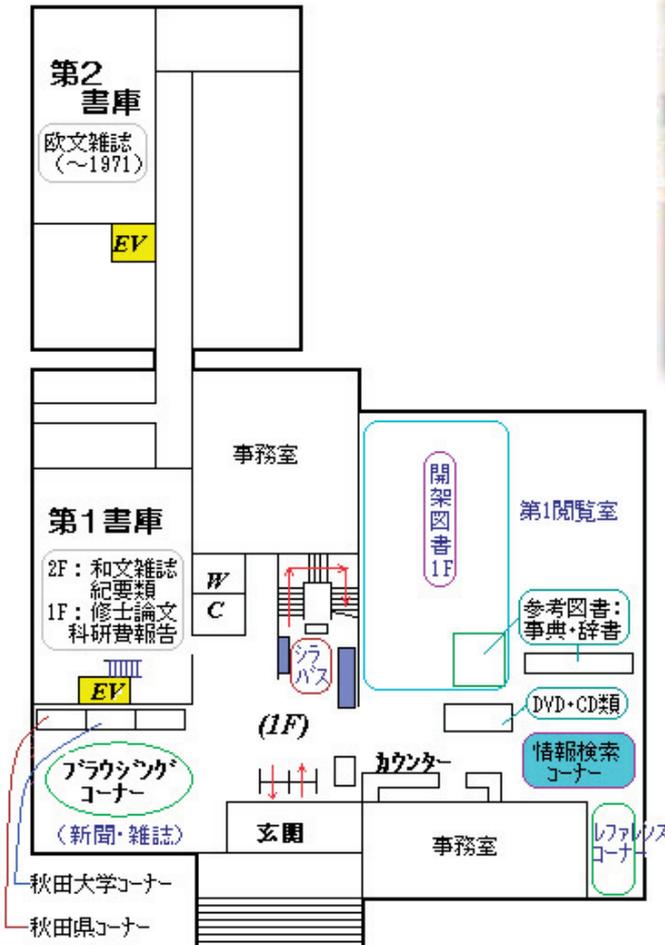
●出版年： から

※本館所蔵の“書名(タイトル)”に“秋田”と“歴史”が含まれる“図書”を探す。⇒タイトル項目に検索語を入力

※著者や出版情報が多い場合は検索項目に入力する。

館内図(本館：手形キャンパス)

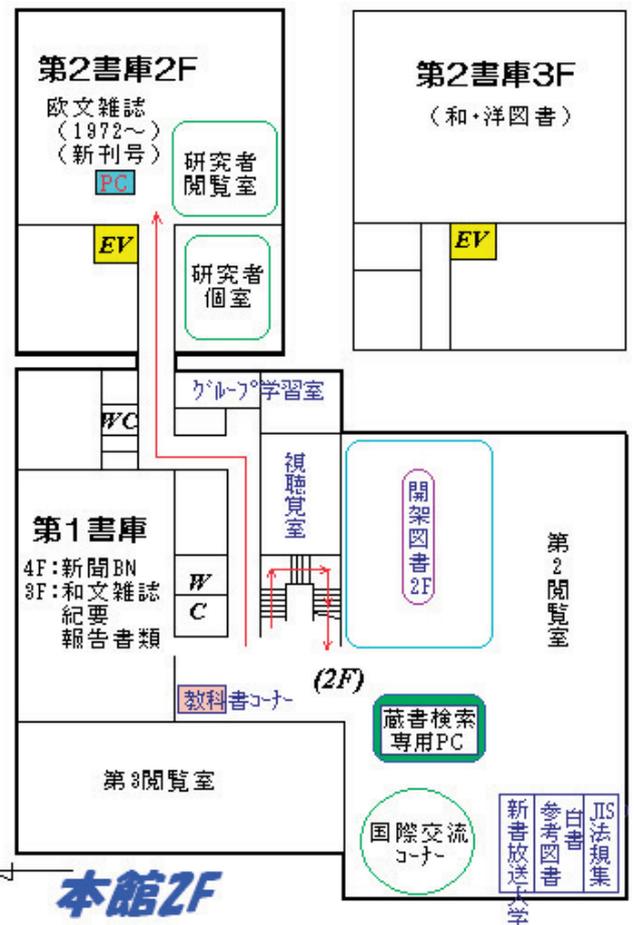
本館1F



(カウンター)



(情報検索コーナー)



本館2F

館内図(医学部分館：本道キャンパス)



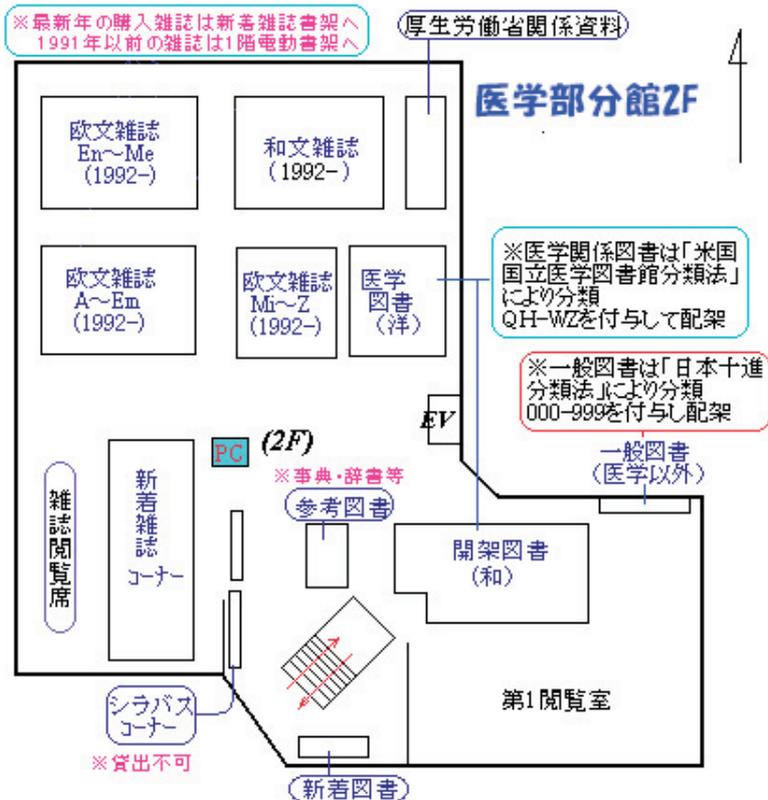
医学部分館1F



(情報スペース)



(開架図書)



データベース紹介*

- ・レポート・論文作成には先行文献の調査が基本です。
- ・文献(雑誌論文情報)を探すためのツール(道具)= データベースが数多く在ります。
- ・適切なものを選択、利用しましょう。論文タイトル、著者、掲載雑誌名などで検索
- ・WEBで利用できるものから主なものをご紹介します。
- ・利用法解説(他のDBも紹介しています)や実際の検索は図書館HPからどうぞ

CiNii (サイニイ) 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の雑誌論文DB [NII (国立情報学研究所) 作成] ・学会誌・大学紀要情報 (本文が読めるもの多数) / 雑誌記事索引 (国立国会図作成DB) / 論文引用情報など
GeNii (ジーニイ) 	<ul style="list-style-type: none"> ・上記CiNii(論文情報)のほかWebCat Plus (図書情報) / KAKEN (研究成果情報) / NII-DBR (各分野のDB) を含む 日本の文献の総合 (横断) 検索ができます。
Engineering Village 	<ul style="list-style-type: none"> ・理工学系対象の世界的論文データベース ・世界の主要学術雑誌論文情報の検索と本文へのリンクでその場で本文が読めるもの多数
ProQuest 	<ul style="list-style-type: none"> ・人文科学・社会科学を含めた全分野対象の外国雑誌 (学術・一般) 新聞情報 (NY Timesなど)の論文・記事検索ができ本文も読めるもの多数
SCIRUS (サイラス) 	<ul style="list-style-type: none"> ・総合的な科学専用検索エンジン ・電子ジャーナルとリンクして本文が読めるもの多数 ・WEB上の学術、技術、医学最新情報が入手できます。
J-Stage 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の理工学系学術雑誌の電子ジャーナル [JST (科学技術振興機構) 作成] ・本文まで読める無料公開雑誌が多い (理工学系)
Google Scholar 	<ul style="list-style-type: none"> ・学術論文検索用のGoogle ・日本語文献も (日本語で) 検索できます。
医学中央雑誌 (医中誌WEB) 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の医学関係論文・記事情報 ・学内から医学部分館HPにアクセスし、利用できます。
PubMed 	<ul style="list-style-type: none"> ・米国国立医学図書館(NLM)作成の世界的医学文献DB ・医学部分館HPに詳細解説があります。
電子ジャーナル 	<ul style="list-style-type: none"> ・電子(デジタル)化され、インターネットを通してパソコンで読める学術雑誌 ・各社の電子ジャーナルが検索、閲覧できます。 ・契約・無料公開タイトルの統合リストがあります。

検索や本文閲覧が学内からの利用に限定されているものもあります。
WEB版のほか冊子体 (レファレンスコーナー) やCD-ROM版もあります。

新入生の皆さんへ

- 卒業生からの“図書館利用のすすめ” -

佐藤裕子

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。新しい環境にはもう慣れましたか？ 私自身、入学したての頃は期待と不安の入り混じるあわただしい毎日でした。

中でも、秋田大学の図書館に初めて入ったとき、これまで利用してきた図書館との違いに驚いたことを思い出します。皆さんに図書館を積極的に利用して頂きたく、図書館について少しですが述べたいと思います。

図書館の資料は各学部に対応した専門書が多くを占めます。テスト対策やレポート提出時に限らず、在学中はほとんど全員が利用します。授業で紹介された資料や教科書なども図書館で所蔵していることが多く、ここぞというときに頼りになる存在です。

自分が読みたい本、知りたい情報が載っている資料を探すとき、まずは情報検索コーナーのPCでOPAC（蔵書検索システム）を利用することを

お勧めします。秋田大学で所蔵している資料をすばやく、しかも幅広く集めることができます。またインターネットで図書館ホームページにアクセスし、更に多くの情報に触れることもできます。

本の所在がわからない、探したけれども見つからなかったなど、困ったことがあれば遠慮なく職員さんに尋ねてください。そして、日頃から図書館に慣れ親しみ、ぜひとも卒業研究の助けにして頂くことを強く望みます。図書館の利用について、知っているのと知らないのではいずれ大きな差になるためです。

私も卒業するにあたり、図書館に対しての未練が少なからずあります。図書館で勉強している人たちを見ると、学ぶことに対する前向きな気持ちが湧いてきます。“情報の宝庫”である図書館を皆さんの学びに役立てて頂くことを願います。楽しい毎日を送ってください！

(さとう ゆうこ 教育文化学部 学校教育課程 発達科学選修 平成18年度卒業生)

本学教員等著作寄贈図書

(平成18年9月～平成19年2月受入れ)

本学教員が著し、寄贈されたものです。ありがとうございます。

書名	著者名(敬省略)	出版社	出版年
家庭科再発見	望月一枝共著	開隆堂	2006
Choice in economic contexts	Wood, Donald C.編	Elsevier	2007
忘れ得ぬ患者	三浦亮著	[私家版]	2003
社会言語学の展望	日高水穂分担執筆	くろしお出版	2006
方言の文法(シリーズ方言学;2)	日高水穂分担執筆	岩波書店	2006
日本のフィールド言語学	日高水穂分担執筆	桂書房	2006
学校のなかの地球	西川竜二分担執筆	技報堂出版	2007

* 図書館では本学教員の著作物(単独著書、共著書、編著書、訳書、分担執筆、学位論文)を、積極的に収集し、利用に供しています。出版の折には御寄贈くださいますようお願いいたします。

著書紹介

對馬達雄 著

『ナチズム・抵抗運動・戦後教育 - 「過去の克服」の原風景』

(全315頁 昭和堂 2006年10月刊行)

日本ファシズムとナチズムの崩壊後60年余を経た日本とドイツ。両者は1945年に「再出発」の機会を共有しながら、戦後処理において際立った対照をなしている。

<過去>を清算しえず、他者への想像力と歴史認識そのものも衰退させつつある現代日本。ナチス暴政の<過去>を<記憶の文化>

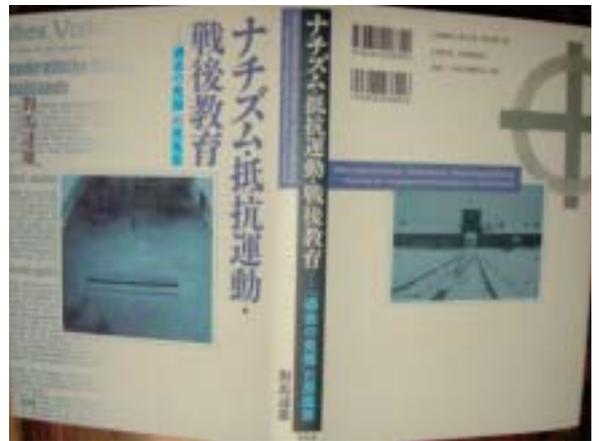
にまで昇華させ、EUを主導する統一ドイツ。二つの戦後史の帰結を目の当たりにすると、ドイツにおいて元来<過去の克服>とは、またその原風景とはいかなるものであったのかという問いが浮かび上がる。

本書は、表題が示すように、そうした見地からドイツ人自身の反ナチ抵抗運動が戦後史・戦後教育にもたらした意味と役割を究明したものである。抵抗運動とは単にナチス打倒の行動であっただけではない。自ら思考することを放棄して独裁制に身を委ねるドイツ人大衆の<精神的覚醒>、つまり自律と責任意識の展開をめざす思想運動でもあった。

その意味で、ヒトラーに苛烈に断罪された“ティーフェンゼー農村学校”のライヒヴァイン、彼の与した“クライザウ・グループ”、“白バラ運動”のショル兄妹らの抵抗運動は優れて人間形成論的性格を帯び、<過去の克服>の源流をなしている。本書は、戦中期と戦後占領期を統合的にとらえ、この問題を俎上にのせた内外における最初の研究書である。

(文：つしま たつお 教育文化学部 発達教育講座 教授)

本書は秋田大学コーナー他にあります。(372.34 Ts91)



武内恵美子 著

『歌舞伎囃子方の楽師論的研究 - 近世上方を中心として - 』

(全2冊 和泉書院 2006年2月刊行)

2006年2月に拙著『歌舞伎囃子方の楽師論的研究 近世上方を中心として』を出版しました。

歌舞伎囃子方というのは、歌舞伎の演奏者という意味です。歌舞伎は音楽劇であり、演目によって比重は異なりますが、物語の展開や情景などは、多々音楽で表現されます。

それらは江戸時代には最先端の流行音楽でした。ところが、どのような囃子方が歌舞伎に出演していたのか、どのような組織が存在していたのかはおろか、どのようなジャンルの音楽が演奏されていたのかも、実はほとんどわかっていませんでした。

そこで、歌舞伎上演の際に配布されたプログラムである「役割番付」に記載されている囃子方名を調査し、基礎統計や社会的ネットワーク分析などを駆使して、上方歌舞伎（京大坂）で用いられたジャンル、囃子方の個人的な動向や組織の有無、そこに潜む身分的な問題等の解明を試みました。専門的でわかりにくい点多々あり、またかなり長いですが、興味がありましたら一度手に取っていただけたら幸いです。

(文：たけのうち えみこ 教育文化学部 音楽教育講座 助教授)

本書は秋田大学コーナーにあります。(774.7 Ta67)



平成19年度秋田大学附属図書館開館カレンダー

本館

4月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

5月						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

6月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

7月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

8月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

9月						
日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

date 平日 8:30~21:00
 date 土曜・日曜・休日 10:00~17:00
 date 長期休業期間等 8:30~17:00
 date 休館

分館

4月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

5月						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

6月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

7月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

8月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

9月						
日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

編集後記

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。
 新たなスタートラインに立った皆さんには、さまざま
 世界への扉が開かれています。
 図書館という場所で、皆さんが素晴らしい世界
 に出会うことを願います。ご利用をお待ちしてい
 ます。

図書館だより 第64号

2007年4月1日発行

編集 秋田大学附属図書館出版物編集委員会
 発行者 秋田大学附属図書館
 〒010-8502 秋田市手形学園町1-1
 TEL 本館018-889-2279 分館018-884-6052
 FAX 本館018-832-4917 分館018-884-6252
 E-mail: 本館 riyos@lib.akita-u.ac.jp
 分館 ibun@lib.akita-u.ac.jp